

## 第2学年 国語科学習指導案

指導者

### 1 単元名

～がまくんとかえるくんシリーズを読もう～

ようすを考えて読もう「お手紙」「なくしたボタン」「ひとりきり」

### 2 指導観

#### こんな子どもたちだから

- 子どもたちは、88%が本を好きで、読み聞かせを84%の子が楽しみにしている。「親友」という言葉について「知らない」が47%、知っている子も「仲の良い友達」という認識である。(意欲・関心)
- 1学期の物語文の学習を通して、さし絵を手がかりに、したことを順序よくたどり、主人公の様子や気持ちを考えて話の筋を読み取る経験をしてきている。会話文をもとに人物の気持ちを考え、言葉を根拠にして説明しようとする子も出てきている。(学び方)
- 聴き合い活動を通して、場面の様子や登場人物の様子から、登場人物の気持ちを想像することができるようになってきた。(認識)

#### こんな教材を使って

##### ○単元のねらい

本単元は、「場面の様子をとらえ、がまくんやかえるくんのしたことから気持ちを想像しながら、お話の大体を読むことができるようにするとともに、同じシリーズの作品を楽しんで読書しようとする事」をねらいとしている。

##### ○学習指導要領への意義

本教材「お手紙」は、がまくんとかえるくんの心温まる友情の話である。擬人化された動物の登場人物は、子どもたちが、様子を思い浮かべながら、がまくんやかえるくんになりきって音読しやすい。また、似たことばを比べたり、会話文を読んだりすることで、登場人物の様子や気持ちをとらえることができる教材である。

「お手紙」は、人物のしたことの順序や場面の様子などに気付き、想像を広げながら読む力を育てることができる。それとともに、「お手紙」の後にがまくんとかえるくんシリーズを読むことは、楽しんで読書しようとする態度を育てる上で価値高いと考える。

##### ○テーマへの意義

子どもたちにとって、会話文や地の文からかえるくんやがまくんの様子や気持ちを考えて、話の筋を詳しくしたり、互いの考えを聴き合ったりすることは、「読むこと」を通して考える力を身に付け、豊かな学びをつくる子どもを育てる上で意義深いと考える。

#### こんな手立てで(方法)

##### ○つかむ段階では

「お手紙」の題名と冒頭部分から読みのめあて「かなしい気分でげんかんにこしを下ろしているがまくんとかえるくんがこれからどうなるお話だろう。」をつくり、全体を読み通して答えを見付ける。

##### ○さぐる段階では

知りたいことや疑問に思ったことを読み確かめていく視点にして二人の様子を場面ごとに詳しく読む。「かえるくんがしたこと」「がまくんがしたこと」「二人でしたこと」の3つに絞って聴き合い活動を行い、二人が互いに相手を思いやっていることに気付かせる。

##### ○あらわす段階では

「お手紙」以外のがまくんとかえるくんシリーズを読み、他の物語では二人がどんな友達なのか、「お手紙」と同じように「かえるくんがしたこと」「がまくんがしたこと」「二人でしたこと」の3つに絞って聴き合い活動を行い、似ているところや違うところを出し合うことで、がまくんとかえるくんのつながりについて考えを見直していくようにする。

アーノルド＝ローバル

#### 目指す子どもの姿

- ◎ がまくんとかえるくんの様子や気持ちを想像しながら読み、楽しく音読しようとしている。(意欲・関心)
- ◎ 似たことばを比べたり、会話文から様子や気持ちを考えたりすることを通して、がまくんとかえるくんのつながりについての考えを聴き合うことができる。(学び方)
- ◎ 聴き合い活動を通して、がまくんとかえるくんのお互いを思いやる気持ちや親友の意味について考えを見直すことができる。(認識)

前単元

「スイミー」「せかいいち おおきなうち」他

〇 スイミーの様子を想像しながら読み、おもしろさを見直す聴き合い活動

次単元

「スーホの白い馬」他

〇 スーホと白馬の様子を想像しながら読み、互いの心の結びつきを見直す聴き合い活動

がまくんとかえるくんは、お互いに相手を喜ばせたいと思っている。時々うまくいかないこともあるが、相手が自分のことを思ってくれているのが分かって嬉しい。

〇主な聴き合い活動

学習問題「ふたりはどんな友だちなのだろう。」について、がまくんとかえるくんがしたことを比べて聴き合い、がまくんとかえるくんのつながりの深さを見直している。

〇主なポートフォリオ評価

ポートフォリオをもとに、がまくんとかえるくんがお互いをどのように思いやっているかをまとめ、交流して付け加え、自分の考えを見直している。

「お手紙」のがまくんとかえるくんは、お互い相手のことを考えて、相手がどんな気持ちか分かり合えている友達。

お手紙

さし絵

〇かえるくんががまくんにしたこと  
・大いそぎで紙に何か書きました。  
・「がまがえるくんへ」とび出しました。

●がまくんがかえるくんにしたこと  
・「ああ。とてもいいお手紙だ。」

◎二人でしたこと  
・げんかんに出て、お手紙の来るのをまっています。  
・とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっています。

なくしたボタン (ふたりはともだち)より

〇あるいてみよう。じきに みつかるよ。うれしくて、ぴよんぴよん はねました。

●ボタンをみんなうわぎにぬいつけました。うわぎをかえるくんに あげました。

◎ふたりはボタンがないかさがしはじめました。

ひとりきり (ふたりはきょうも)より

〇がまくんを、しまの上にひっぱりあげました。きみが いてくれて うれしいよ。

●はしってうちへ かえりました。サンドイッチをつくりました。みんなごめんね。また ともだちになっておくれよ！

◎ずっとしまですごしました。ぬれた サンドイッチをたべました。

4 指導計画 (計16時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 ◇=評価規準 ・=意識	指導上の留意点と評価方法 ○=留意点 ◆=評価方法	配時
つかむ	1 題名、冒頭から、読みのめあてをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がまくんとかえるくんが友達なんだね。</li> <li>・がまくんは悲しそうだね。</li> <li>・かえるくんはどうだろう。</li> </ul> ◇題名や冒頭部分をつないで、読みのめあてを生み出し	○がまくんだけでなくかえるくんまでもが悲しい気分になっていることを読み取らせ、話の展開に興味をもたせる。 《支援⑥》 ◆活動の様子の観察	1
	<読みのめあて> かなしい気分でげんかんにこしをおろしているがまくんとかえるくんがこれからどうなるお話だろう。 又を読み、あらすじをまとめる。	とかえるくんかしたことや見たことをまとめ、あらすじをとらえている。	○挿絵が順番に並んだ学習プリントを用意し、それにそってあらすじを考えさせる。 《支援⑧》 ◆学習プリント・ポートフォリオ分析	1
	<読みのめあてに対する答えの方向> がまくんがお手紙を一度ももらったことがないと聞いて、かえるくんは急いで家に帰ってがまくんにお手紙を書き、かたつむりくんに届けてくれるように頼んだ。かたつむりくんがなかなか来なくて、お手紙が来ないと思ってしまうのがまくんに、かえるくんは自分がどんなお手紙を書いたかを言ったので、かえるくんががまくんを親友だと思っていることが分かって、とても幸せな気持ちになったお話。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かえるくんはどんな気持ちでお手紙を書いたのかな。</li> <li>・なぜお手紙に書いたことを先に話したのかな。</li> </ul> ◇場面ごとに疑問点を見付け、読み確かめの視点をもっている。	<b>交流活動①</b> ●全体 ・不十分な点から疑問を見付ける聴き合い活動 ○全体を読み通した上で、直接気持ちを表す言葉が出ていない部分に着目させ、その部分を詳しく読もうとする意欲をもたせる。 《支援②④》 ◆活動の様子の観察	1
さぐる	4 がまくんとかえるくんの様子や気持ちを、場面ごとに読み取る。 (1) お手紙を待つがまくんと大急ぎで家に帰ったかえるくんの様子や気持ちを読み取る。 (2) お手紙を待っているかえるくと、あきらめてしまっているがまくんの様子や気持ちを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早くがまくんを喜ばせたくて大急ぎで帰ったんだね。</li> </ul> ◇かえるくんのしたことから場面の様子やかえるくんの気持ちを読み取っている。  ◇がまくんとかえるくんのしたことの違いから、考えの違いを読み取っている。	○かえるくんのしたことを順に抜き出し、それぞれなぜしたのかを考えさせる。 《支援⑥》 ◆学習プリント・発言分析 ○がまくんとかえるくんのしたこと・言ったことを対比させ、考えの違いを感じさせる。 《支援④⑨》 ◆学習プリント・発言分析	2
				2

さ ぐ る	<p>(3) かえるくんの出したお手紙を待つがまくんとかえるくんの様子や気持ちを読み取る。</p> <p>5 「お手紙」の学習を振り返り、読みのまとめと読み方のまとめをする。</p> <p>(1) 場面ごとに、がまくんがしてもらったこと、がまくんがしたこと、二人でしたことを整理する。</p> <p>(2) 「お手紙」での二人の関係について考える。</p> <p>(3) 「お手紙」の学習で使った読み方をまとめる。</p>	<p>・がまくんは、かえるくんの優しさが分かって、嬉しかったと思う。</p> <p>◇会話文からがまくんの心情の変化を読み取っている。</p> <p>◇場面ごとのがまくんとかえるくんのしたことや気持ちを振り返り、がまくんとかえるくんがどんな友達かを書いている。</p> <p>・がまくんとかえるくんはお互いをととても大事にしているんだね。</p> <p>・したことのわけを考えたり、言ったことをつないで読むと気持ちが分かるね。</p>	<p>○会話文を音読したり動作化したりすることで心情の変化を読み取らせる。</p> <p>《支援①⑤》</p> <p>◆活動の様子の観察・発言分析</p> <p>○場面ごとの気持ちの移り変わりを振り返らせ、相手に対してどんな気持ちをもっているかを書き出させる。</p> <p>《支援④⑨》</p> <p>◆学習プリント・ポートフォリオ・自己評価カード・考えマップ・フリップ分析</p>	2
	<p>&lt;「お手紙」の読みのまとめ&gt;</p> <p>「お手紙」は、がまくんが一度もお手紙をもらったことがないのを知ったかえるくんが、がまくんを喜ばせようとお手紙を書き、それを知ったがまくんも、かえるくんがしてくれたことに喜んで、二人で幸せな気持ちでお手紙を待つお話です。</p> <p>私は、相手のことを考えている友達と思っていたけど、○くんのお話を聞いて、二人でお手紙を待つのが楽しいから、いつも一緒にいる友達というのもあると思いました。</p> <p>○「お手紙」が「ふたりはともだち」という本の中のお話であることを紹介する。</p>		<p><b>交流活動②</b></p> <p>●同質グループ</p> <p>・不十分な点を補い考えを整理する聴き合い活動</p> <p>○がまくんとかえるくんシリーズの本の題や中のお話の題を知らせ、他の話にも興味をもたせる。《支援①⑤》</p> <p>◆発言分析</p>	2
あ ら わ す	<p><b>学習問題</b>：ふたりはどんな友だちなのだろう。</p> <p>6 アーノルド＝ローベルの他の作品を読み、がまくんとかえるくんはどんな友達かについて考えを見直す。</p> <p>(1) がまくんとかえるくんが出てくる他の作品を読んであらすじをつかみ、二人の様子や気持ちを読み取る。</p> <p>(2) 二人の様子や気持ちを「お手紙」と比較し、二人のつながりをまとめる。</p> <p>7 単元全体を振り返る。</p> <p>○ 読みのまとめと読み方のまとめをする。</p>	<p>◇アーノルド＝ローベルやその作品について興味・関心をもっている。</p> <p>・他のお話ではがまくんとかえるくんはどんな友達かな。</p> <p>・「ひとりきり」では、「お手紙」とは違って、がまくんがかえるくんを心配して探しに行ったりしています。</p> <p>◇他の作品を読んで、がまくんとかえるくんがどんな友達かを「お手紙」と比べて話している。</p> <p>・いつも、お互いに相手のことを考えて、分かり合っている友達なんだな。</p>	<p>○がまくんとかえるくんのしたこと・言ったことを「お手紙」の学習での二人の行動や気持ちと比較して考えさせる。</p> <p>《支援④⑨》</p> <p>◆考えマップ・フリップ・ポートフォリオ・自己評価カード分析</p> <p><b>交流活動③</b></p> <p>●異質グループ</p> <p>・共通点をもとに考えを見直す聴き合い活動</p>	3 1 本 時 1

## 5 本時

がまくんとかえるくんシリーズの他の本を読んで「お手紙」と比較し、似ているところや同じところ、違うところを聴き合うことを通して、がまくんとかえるくんがどんな友達なのか、自分の考えを見直す時間  
(15/16)

## 6 本時の目標

- がまくんとかえるくんシリーズに興味をもち、がまくんとかえるくんがしたことをもとに、人物の気持ちや場面の様子について想像を広げながら読み、楽しんで読書しようとする。(学習指導要領から)
- がまくんとかえるくんが登場する他の作品で、二人がお互いを思いやる気持ちを「お手紙」と比べながら読み取り、それを聴き合うことを通して自分の考えを見直すことができる。(テーマから)

## 7 本時の授業仮説

がまくんとかえるくんが登場する他の作品に触れて、二人がどんな友達なのか聴き合う活動を設定し、二人がお互いを思いやる様子を「お手紙」と比べて読んだり、友達が見付けたかかわりを聴き合ったりしながら、自分の考えを振り返るポートフォリオ評価を取り入れていけば、自分がこれまでの読み取りでとらえたがまくんとかえるくんがお互いを思いやる気持ちを見直すことができるであろう。

## 8 本時指導の考え方

### ○本時のねらい

本時は、がまくんとかえるくんが登場する他の作品において、がまくんとかえるくんがお互いを思いやる気持ちを「お手紙」と比べながら読み取り、それを聴き合う活動を通して、自分の考えを見直すことをねらいとしている。

子どもたちはこれまでの学習で、友達と本を紹介し合う楽しさに触れている。前時までには、「お手紙」を読んで、がまくんとかえるくんのかかわりを「かえるくんがしたこと」「がまくんがしたこと」「二人でしたこと」の3つにまとめている。また、がまくんとかえるくんが登場する物語を読んで、がまくんとかえるくんがお互いにどのようにかかわっているかを「お手紙」と比べながらまとめている。

### ○交流活動の工夫について

本時では、自分が読んだがまくんとかえるくんの本について、「かえるくんがしたこと」「がまくんがしたこと」「二人でしたこと」の3つに絞って聴き合い活動をさせることで、自分の考えと相手の考えの違いや共通点を明確にし、自分の考えを見直すことができると考える。

また、聴き合いの後には、考えマップに自分が取り入れたい友達の考えのよさを書き込ませ、自分の考えの深まりを目に見える形で表させることで聴き合い活動の達成感をもたせたい。

### ○評価活動の工夫について

聴き合い活動の後で、前時までの学習における自分の考えをまとめたポートフォリオを振り返り、深まった考えと比較することで、自分の考えの変容や深まりに気付かせる。「ぼくははじめ〇〇と思っていたけど、〇〇さんの考えを聞いて、〇〇も考えられると思いました。」のように、自分の考えの変容をまとめさせたい。

#### ・規準に満たない子への支援

交流活動においては、「お手紙」を読むときにとらえた「かえるくんがしたこと」「がまくんがしたこと」「二人でしたこと」の3つの視点、自分が読んだ本のあらすじと「お手紙」を読んだときと同じ3つの視点をあらかじめ書き出させておき、それをもとに聴き合い活動をさせる。また、自分の考えの根拠になる、教科書やポートフォリオの該当ページにあらかじめ付箋を貼り、すぐに振り返ることができるようにする。

評価活動においては、考えマップの友達の考えを付け加えた部分に着目させ、前時までの自分の考えと比較することで、考えを見直すことができるようにしていく。

## 9 準備

学習の流れ図、フリップ、授業用資料、ポートフォリオ、自己評価カード

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「お手紙」でのがまくんとかえるくんを振り返る。</li> <li>○ それぞれ読んできた本のがまくんとかえるくんのかかわりを聴き合うことを確認する。</li> </ul>	<p>○ 掲示物やポートフォリオで、これまでの学習でまとめてきたがまくんとかえるくんのかかわりを振り返らせ、本時のめあてと聴き合いの視点を確認する。</p>	基準A	基準B	学習の流れ図
<p><b>学習問題：</b>ふたりはどんな友だちなのだろう。</p>				
<p><b>本時のめあて：</b>がまくんとかえるくんのしたことをくらべてきき合い、ふたりがどんな友だちか考えよう。</p>				考えマップ
<p>2 読んだお話の中で、二人はどんな友達だったかについて聴き合い活動をする。</p> <p>(1) グループで、自分の読んだ本のあらすじと、がまくんとかえるくんのかかわりを紹介し、聴き合う。</p> <p>(2) 代表児童の読んだ本のあらすじと、がまくんとかえるくんのかかわりの発表をもとに、二人がどんな友達なのか話し合う。</p> <p>(3) がまくんとかえるくんはどんな友達かをまとめる。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 学習を振り返り、自己評価カードを書く。</p> <p>(2) 学習の感想を発表し、物語を読む楽しさを感じ取る。</p>	<p>○「ひとりきり」を読んだ子と「なくしたボタン」を読んだ子でグループを組み、聴き合いをさせる。</p> <p>○それぞれのお話で、とらえさせたいかかわりを読み取っている子を代表児童とし、考えのよさを広げていくようにする。</p> <p>○2つの話を比べて、がまくんとかえるくんのかかわりで似ているところや違うところを発表する。</p> <p>○「お手紙」でまとめたポートフォリオを振り返りながら自分の考えをまとめる。</p>	<p>・読んだ本のあらすじと、3つの視点からの二人のかかわり分かりやすく話したり、相手の話すかかわりについて詳しく尋ねたりできる。</p>	<p>・読んだ本のあらすじと、3つの視点からの二人のかかわりを話したり、相手の話すことについて尋ねたりできる。</p>	フリップ 授業用資料
<p>＜本時で目指す子どもの姿＞</p> <p>ぼくは、お手紙と○○を読んで、がまくんとかえるくんは、いつも相手のことを考えてあげている友達だと思いました。○○を読んだ○○さんの話を聞いて、それだけじゃなくお互いが相手を信じていることも分かりました。相手が自分のことを考えてくれていると信じているから、けんかしたときでも、すぐ仲直りできるいい友達なんだと思います。がまくんとかえるくんシリーズのほかの本も読んでみたいです。</p>		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・考えマップに読んだ本のあらすじも書かせておき、根拠となる教科書やポートフォリオには付箋を貼ってすぐに見られるようにしておく。</p>		
<p>4 次時の学習を知る。</p>		<p>・ポートフォリオや自分の考えマップを振り返り、見直した考えを友達の見直した考えも取り入れた形でまとめることができる。</p>	<p>・ポートフォリオや自分の考えマップを振り返り、見直した考えをまとめることができる。</p>	ポートフォリオ 自己評価カード
		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・自分の考えマップと、聴き合いをした友達の考えマップを比べて違いや共通点を見付けさせ、自分の考えに付け加える形でまとめさせる。</p>		

